

令和2年9月29日

所 属	文化振興担当
所属長	松長昌男
電 話	06-6489-6385

令和2年度「尼崎市民芸術賞」被表彰者の決定について

1 趣旨

この表彰は、芸術性の高い優秀な作品等を創作し、全国規模の活動を展開している方へ贈られます。市民の芸術文化創造への意欲を喚起し、本市の芸術文化の振興を図ることを目的としています。このたび、つぎのとおり被表彰者が決定し、表彰式を実施致します。つきましては、是非ご取材いただきますよう、お願い申し上げます。

2 被表彰者と活動分野

赤松 玉女（あかまつ たまめ） 美術

3 受賞者のご功績

尼崎市出身の日本を代表する美術家である。一貫して絵画表現に取り組み、創作活動は高い評価を受けてきた。あわせて母校で教鞭をとり、後進の育成に取り組み、多くの若い才能を伸ばしてきた。2019年からは京都市立芸術大学理事長兼学長に就任し、大学運営にも携わる。

詳しくは別紙1のとおり

4 被表彰者略歴

別紙2のとおり

5 表彰式について

(1)日時

令和2年10月19日（月） 午前9時45分から

(2)場所

市役所本庁舎 特別会議室（北館2階）

(3)出席者（予定）

被表彰者、市長、副市長、議長

(4)新型コロナウイルス感染拡大防止対策

会場内では座席間隔、記念撮影時の人同士の間隔を十分に取り、ソーシャルディスタンスを保つと共に、式中はマスクの着用を前提とし、記念撮影のみマスクを外して執り行う。

以 上

受賞者のご功績

尼崎市民芸術賞

あかまつ たまめ
赤松 玉女

1959年12月8日生

住所：京都市

尼崎市出身の日本を代表する美術家である。

一貫して絵画表現に取り組み、京都市立芸術大学在学中より、創作活動は高い評価を受けられてきました。卒業後はフレスコ画の本場であるイタリアへの研修の機会を得て、技法の研究のみならず、新天地で表現の幅も豊かにし、創作活動・発表をつづけてこられました。

帰国後は母校で教鞭をとり、後進の育成に取り組み、多くの若い才能を伸ばしてこられました。

2019年からは京都市立芸術大学理事長兼学長に就任、日本でもっとも歴史のある芸術大学において、初めて誕生した女性学長として、大学運営に携わっておられる。

これらの活動は、本市の芸術文化の振興に多大なる貢献をなされている。

令和2年度尼崎市民芸術賞略歴

被表彰者名 : 赤松 玉女 (あかまつ たまめ)
活動分野 : 美術
生年月日 : 昭和34年 (1959年) 12月8日 60歳
住 所 : 京都市
活動歴 : 1959年 兵庫県尼崎市生まれ
1983年 第30回全関西美術展 (全関賞3席、大阪市立美術館)
1984年 第2回京都府美術工芸選抜展 (京都府買い上げ)
1984年 第31回全関西美術展 (読売テレビ局賞、大阪市立美術館)
1986年 第33回全関西美術展 (全関商1席、大阪市立美術館)
1989年 イタリア滞在 (~1992年)
1993年 京都市立芸術大学美術学部 着任
1999年 京都市新人賞受賞
2001年 ローマにてフレスコ技法研修 (~2002年)
2009年~ 障害児・障害者を対象にしたアート活動に携わる
2016年 「あまがさきを彩る女性作家たち」展
(尼崎市総合文化センター)
2019年 京都市立芸術大学 理事長兼学長に就任

以 上